

令和5年度 社会科

教科	社会科	科目	日本史 B	単位数	4	年次／コース	高校3年生/特進
使用教科書	詳説日本史 改訂版						
副教材など	なし						

1. 担当者からのメッセージなど（学習方法など）

高校3年生では、大学受験において必須である近現代史を中心に授業を展開します。明治、大正、昭和の3つの時代におけるポイントを理解し、知識の習得を目指しましょう。また、受験だけではなく先に挙げた3つの時代の政治、経済、外交、文化などは、現代社会との共通点が非常に多く、歴史学を通して様々な事柄を思考する力を体得してほしいと思います。授業においては、教科書を中心に展開をし単なる暗記だけではなく、その時代の特色をしっかりと捉え学習していきましょう。

2. 学習の到達目標

江戸時代後期から現代に至る歴史の展開を、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握する。それと同時に、各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深める。その際、諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な思考力の育成を図るとともに、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養うことを到達目標とする。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：知識・技能	B：思考・判断・表現	C：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 各時代における政治、経済、文化、外交などを理解することができるかどうか。 日本だけではなく周辺諸国との関係性を理解することができるかどうか。 史資料を活用し、当時の人々の考えを理解できるかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識の暗記ではなく、現代社会あるいは自分自身を比較して共通点や相違点をみいだせるかどうか。 それぞれの時代における分岐点から、為政者の判断へ賛同、あるいは反対する意見を述べられるかどうか。 単語ではなく、文章として各々の事象や時代をまとめることができるかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会との比較を通して、日々の生活において歴史学で学んだ知識を活用することができるかどうか。 発言、発表を自ら行い自分自身の成長を実感することができるかどうか。 自学自習を積極的に行う事ができるかどうか。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 授業後のリフレクションシート 中間考査、期末考査など 	<ul style="list-style-type: none"> 授業後のリフレクションシート (知識だけではなく、自分の意見や批判的な考察ができるかどうか) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業後のリフレクションシート 予習をして授業に臨む姿勢。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			A	B	C		
1	第8章 幕藩体制の動揺	2 宝暦・天明期の文化	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学問、教育の発展を政治史と関連づけて理解できたかどうか。 ・文学、芸能など現代との比較し学ぶことができるかどうか。 	リフレクションシート
		3 幕府の衰退と近代への道	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・寛政の改革について学び、先の享保の改革との比較をし学ぶことができるかどうか。 ・ロシア、イギリスなどの列強の進出により鎖国体制が動揺する過程を理解できるかどうか。 ・天保の改革について学び、享保、寛政の改革と比較し学ぶことができるかどうか。 ・薩長土肥の出現と各々の改革事項を理解できるかどうか。 	リフレクションシート
		4 化政文化	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学問、思想においての人物と著書や業績を整理し理解できたかどうか。 	リフレクションシート
	第9章 近代国家の成立	1 開国と幕末の動乱	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航による鎖国体制の終了と幕末期の対外貿易について理解できたかどうか。 ・公武合体と尊王攘夷による幕末期の動乱の構図を理解することができたかどうか。 ・江戸幕府の滅亡過程を理解できたかどうか。 	リフレクションシート
		2 明治維新と富国強兵	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・明治新政府の発足と旧江戸幕府の対立構造を学び、戊辰戦争の推移を理解できたかどうか。 ・明治政府による諸改革（廃藩置県、四民平等、地租改正、殖産興業、文明開化など）を 	リフレクションシート

					理解できたかどうか。		
					<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉使節団による外交政策を学び、不平等条約の改正の端緒を理解できたかどうか。 ・明治政府内での対立構造を理解し、各々の人物の動きを把握することができたかどうか。 	リフレクシ ョンシート	
	3	立憲国家の 成立と日清 戦争	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動の過程を学び、国会の成立意義を理解することができるかどうか。 ・松方財政を学び、インフレ、デフレなどの経済知識を理解することができるかどうか。 ・条約改正史において、不平等内容がどのような過程を経て改正されたかを理解できるかどうか。 ・朝鮮との関係性を理解し、清国との対立構造と関連させ学ぶことができるかどうか。 	中間考査
	4	日露戦争と 国際関係	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・立憲政友会の成立過程を学び、後の政権等との関連性を理解できたかどうか。 ・日露戦争の経緯を学び、諸外国と日本の関係性を理解できたかどうか。 ・桂園時代について学び、桂と西園寺の政策を比較検証することができるかどうか。 	リフレクシ ョンシート
	5	近代産業の 発展	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命により、重工業が発展したことを理解できたかどうか。 ・労働と社会運動の関係を理解できたか。 	リフレクシ ョンシート
	6	近代文化の 発達	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな思想について学び、江戸時代との比較検証ができたかどうか。 ・諸外国の影響を受けた教育や学問について、現代社会と比較することができたかどうか。 	リフレクシ ョンシート

第10章	二つの世界大戦とアジア	1 第一次世界大戦と日本	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦での日本の立場を理解し、諸外国との関連付けて学ぶことができたかどうか。 ・政党政治と民衆との関連を理解できたかどうか。 	リフレクションシート
		2 ワシントン体制	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワシントン体制による、日本の協調外交について理解できたかどうか。 ・護憲三派に代表される平等を求めての社会運動を理解することができたかどうか。 	リフレクションシート
		3 市民生活の変容と大衆文化	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスメディアの発達による民衆の情報獲得が容易になったことが理解できるかどうか。 ・文学派閥組織を整理し、書物等と関連付けて理解できているかどうか。 	リフレクションシート
		4 恐慌の時代	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後恐慌、震災恐慌、金融恐慌、昭和恐慌などの相次ぐ恐慌が日本経済に与えた影響を理解することができるかどうか。 ・北伐による中国の動きと日本の対応策について理解し、軍部との関連性も整理し学ぶことができるかどうか。 ・統帥権干犯問題を契機とした軍部の発言増大と政党政治の崩壊へ至る過程を理解できたかどうか。 	リフレクションシート
		5 軍部の台頭	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変～満州国の建国に至るまでの過程を理解することができたかどうか。 ・五・一五事件、二・二六事件などの軍部による政権打倒を目指す事件が激化した背景を考えることができるかどうか。 	リフレクションシート

2	第11章 占領下の日本	6 第二次世界 大戦	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日、独、伊の三国の関係を理解し、大戦へ至る過程を学ぶことができるかどうか。 ・国民生活の統制が厳しくなり、様々な制約が課されたことを理解できるかどうか。 ・太平洋戦争が勃発する過程を理解することができるかどうか。 ・太平洋戦争～ポツダム宣言受諾までの過程を理解できるかどうか。 	リフレクシ ョンシート
		1 占領と改革	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後世界の形成において、日本の役割を理解できるかどうか。 ・占領下においての日本がGHQによる間接統治がどのようなものであったかを理解できるかどうか。 ・戦後政党と内閣の関係性を理解できるかどうか。 	期末考査 リフレクシ ョンシート
		2 冷戦の開始 と講和	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・中国情勢や朝鮮戦争の勃発による、米国の占領政策を転換したことが理解できるかどうか。 ・サンフランシスコ平和条約の締結により日本がどのような状態となったのかを理解できるかどうか。 ・占領期の文化について理解できるかどうか。 	リフレクシ ョンシート
	第12章 高度成長の 時代	1 55年体制	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・55年体制の仕組みを理解することができるか。 ・安保闘争と国内での動きを理解することができたかどうか。 	リフレクシ ョンシート

第 13 章 激動する世界と日本	2 経済復興から高度成長へ	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の好景気による、高度経済成長がおり、国民生活が変容したことが理解できるかどうか。 ・公害問題や過疎化など、高度経済成長のひずみを理解し、その解決策を自ら考えることができるかどうか。 	リフレクションシート
	1 経済大国への道	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長の終焉とその後の経済状況を理解することができるかどうか。 ・日中国交正常化による、両国の関係性を理解できるかどうか。 	リフレクションシート
	2 冷戦の終結と日本社会の変容	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の終結による国際情勢の変化を理解することができるかどうか。 ・55年体制の崩壊による政党と内閣の関係性を理解することができるかどうか。 ・現代社会の課題点などを自分事としてとらえて解決するためにはどのような方策があり、自分の意見を言うことができるかどうか。 	リフレクションシート
過去問題演習①	共通テスト対策演習	○			<ul style="list-style-type: none"> ・旧センター試験、共通テストの過去問題を用いて対策を講じ、理解できるかどうか。 	中間考査 リフレクションシート
	関関同立対策演習	○			<ul style="list-style-type: none"> ・関関同立の過去問題を用いて対策を講じ、理解できるかどうか。 	リフレクションシート
	産近甲龍対策演習	○			<ul style="list-style-type: none"> ・産近甲龍の過去問題を用いて対策を講じ、理解できるかどうか。 	リフレクションシート
						リフレクシ

3	過去問題演習②	GMARCH 対策演習	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ GMARCH の過去問題を用いて対策を講じ、理解できるかどうか。 	<p>ヨンシート</p>
		早慶上理対策演習	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 早慶上理の過去問題を用いて対策を講じ、理解できるかどうか。 	<p>リフレクションシート</p>
		国公立2次試験対策	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立の過去問題を用いて対策を講じ、理解できるかどうか。 	<p>期末考査</p>